

LINE@
始めました!

ご登録をお願いします

行田邦子 2018年10月号

発行:希望の党参議院埼玉県選挙区第1支部
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-3-18セキモビル4F TEL.048-815-8646 FAX.048-815-8647

高齢化社会における交通手段と安全の確保

日本社会の高齢化とともに、高齢ドライバーも増加しています。平成29年の運転免許保有者数は、75歳以上で540万人、80歳以上で221万人と、平成19年と比較して、各々約1.9倍、約2.3倍となっています。高齢運転者による死亡事故率は、75歳未満の運転者が3.7%であるのに対し、75歳以上は7.7%、80歳以上では10.6%と高くなっており、高齢ドライバーによる痛ましい事故も後を絶ちません。

こうした状況の中、政府においても高齢者の自動車運転免許制度や、交通手段の確保などについて、様々な検討が行われており、平成10年から運転免許の自主返納制度を導入し、75歳以上で運転免許を自主返納した人は約25万人(平成29年)と前年の1.5倍となりました。皆さんの身近なところでも自主返納を考えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。もちろん、高齢者のドライバーが一律に事故を引き起こす危険性が高いわけではなく、個人差があります。警察



庁では、高齢者の運転免許更新の際、認知症など運転の危険性を診断する認知機能検査を平成21年に導入しましたが、予約が取れない、予約待ちが長いといった声を私自身も聞くことがあります。自ら運転することを止めようと思っ

ていても、買い物や通院に車が欠かせない地域では、免許を手放せない現実もあり、代替の交通手段の確保も大きな課題です。以下、高齢者の自動車運転について、先の通常国会の国土交通委員会での質疑をご紹介します。

な課題です。以下、高齢者の自動車運転について、先の通常国会の国土交通委員会での質疑をご紹介します。

<6月6日 国土交通委員会 質疑抜粋>

○行田邦子:75歳以上の方が運転免許を更新する際義務付けられている認知機能検査について。予約がなかなか取れないという声をよく聞く。75歳以上の運転免許保有者の数が増加している中、実施体制の問題が顕在化しているのではないか。

○警察庁:認知機能検査の受検通知書により早期の受検予約を促しているほか、一部の都道府県警察では、予約の空き状況を把握して問合せに対応するなどの取組を行っている。また、一部の都道府県警察においては、認知機能検査の全部又は一部を警察が直接実施したり自動車教習所以外の機関に委託するなど、待ち時間の短縮を図っている。今後とも、受講待ち時間の短縮に向けた取組を進めるよう、都道府県警察を指導してまいりたい。

○行田邦子: 運転リスクが特に高い高齢運転者に対する実車試験導入の検討状況について。

○警察庁:現在、調査研究会を開催し、運転リスクが特に高い高齢運転者への実車試験の導入の可否について、どのような方どのような内容の実車試験を行うことが適当と考えられるか、といった点も含め、検討を進めている。

○行田邦子：限定条件付免許の導入について、具体的にどのような限定条件について議論されているのか、また論点について。

○警察庁：政府の交通対策本部決定において、安全運転サポート車限定免許といった運転免許制度の更なる見直しについても検討課題とされている。有識者委員からは、運転免許の継続又は取消しというオール・オア・ナッシングではなく、社会的な受容性を見ながら、限定条件付免許等の導入について検討した方がよいといった意見や、限定条件については、時間や場所などの限定が考えられるが、可能な限り簡略化した方がよいなどの意見があった。引き続き、検討を進めてまいりたい。

○行田邦子：運転免許証の自主返納に関するアンケート調査によると、自主返納をためらう理由として、約7割の方が、車がないと生活が不便と答えている。運転に不安を感じる高齢者が自ら車を運転せずとも生活できるように移動手段を確保することが重要。

○石井国土交通大臣：国土交通省では、コミュニティバスや乗合タクシー等の運行に対する

支援を通じて地域の路線の確保及び維持を図っているほか、公共交通機関の高齢者向け割引制度等の導入の働きかけを行っている。また、自家用有償旅客運送の導入の円滑化や、ボランティア輸送のルールの特化等を行っている。引き続き高齢者の移動手段の確保に努めてまいりたい。

○行田邦子：地域に交通手段があれば、それを割り引いたりすることもできるが、そもそも交通機関がないといった地域に対して対策を講じることが重要である。高齢運転者の交通事故防止の対策、移動の確保について、政府を挙げて取り組んで頂きたい。

過疎地の移動手段として、自動運転によるコミュニティバスの実証実験も行われ始めています。高齢化先進国である日本において、高齢者、地方のモビリティについて取り組みを加速化させなければなりません。皆様からのご意見をお聞かせください。

参議院議員 こうだ邦子

◇◇◇ 11月 国政報告会のお知らせ ◇◇◇

参加費
無料

大宮

11月20日(火)

18:30～(受付18:00～)

ソニックシティビル【906会議室】

※大宮ソニックシティは「ビル」と「ホール」がございます。
会場は「ビル」の9階となります。

さいたま市大宮区桜木町1-7-5/Tel 048-647-4111

参加費
無料

久喜

11月25日(日)

14:30～(受付14:00～)

久喜市中央公民館

【会議室1・2】

久喜市久喜中央4-7-7/Tel 0480-21-1550

こうだ邦子公式HP・SNS更新中!!⇒



こうだ邦子



(詳しくはwebで検索!!)

【こうだ邦子 プロフィール】

- 1965年9月8日、岩手県遠野市に生まれる
- 東京下町の小さな工務店で、住み込みの職人さんたちに囲まれて育つ
- ICU国際基督教大学卒業(写真部部长、ロックバンドのドラム担当)
- 電通など民間企業に18年間勤務(2度の転職や契約社員を経験)
- 2007年7月、参議院選挙(埼玉県選挙区)初当選、現在2期目
- 第186回国会 参議院消費者問題に関する特別委員会委員長
- 日本大学校友会埼玉県支部顧問

趣味：犬の写真集め、プロレス 好きなもの：焼き鳥を食べながら飲む日本酒
夫とともにさいたま市浦和区在住。 電車で国会に通勤中!

